OS と Starter Pack の対応 (Express5800/R125k-2M 向け)

注記： 本書の適用範囲はモデル名が R125k-2M の製品です。他のモデル名の製品は適用対象外です。

○ R125k-2M　　× 他のモデル

対象モデル名	対象型番
R125k-2M	N8100-3044Y

1. OS と Starter Pack について

Express5800/R125k-2M (以下「サーバー」)に適用される Starter Pack は、工場出荷時点の最新バージョンが適用されています。

サーバーのさらなる安定稼働のため、Starter Pack は更新版が随時リリースされます。

ご使用の OS により使用可能な Starter Pack のバージョンが異なります。安定稼働のために本書および関連資料に記載された手順を参照して、**使用する OS に対応する最新の Starter Pack を適用してください。**

また、各種 OS のインストール前に本書を確認してください。

お客様の目的に応じて、以下を参照してください。

- 使用する OS に対応する Starter Pack のバージョンを確認する場合は「7. OS と Starter Pack の対応表」
- Windows Server をインストールする場合は「2. Windows Server インストール手順」
- Red Hat Enterprise Linux（以降は RHEL と表記）をインストールする場合は「3. RHEL インストール手順」
- 既存システムに対して Starter Pack またはファームウェアの更新を行う場合は「4. Starter Pack 更新手順」
- サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認する場合は「8. Starter Pack のバージョン確認方法」
- Starter Pack に収録されているコンポーネントのバージョンを確認する場合は「9. Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧」
- Starter Pack、EXPRESSBUILDER およびコンポーネントの入手先を確認する場合は「10. ソフトウェアの入手先」

目次

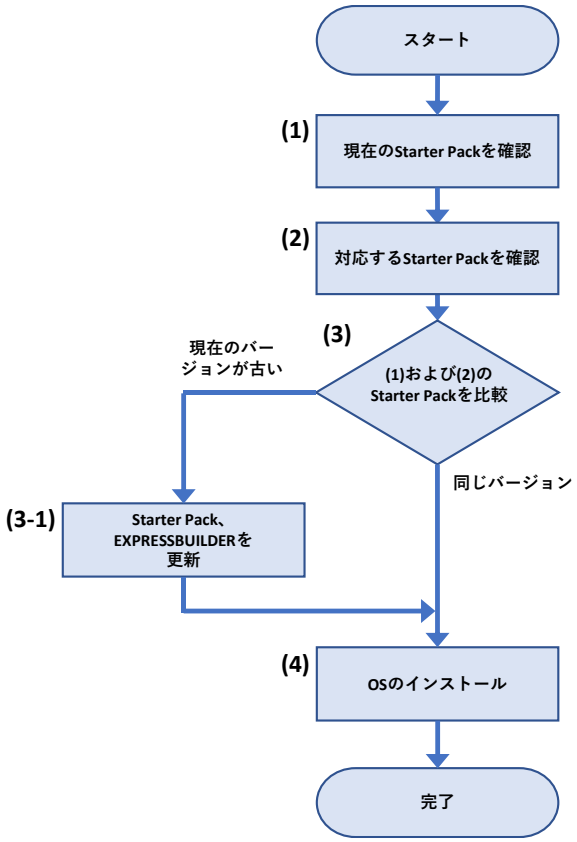
OS と Starter Pack の対応 (Express5800/R125k-2M 向け) 1
1. OS と Starter Pack について 1
2. Windows Server インストール手順 3
3. RHEL インストール手順 4
4. Starter Pack 更新手順 5
5. OS と説明書の対応表 6
6. サーバーと Starter Pack の対応表 6
7. OS と Starter Pack の対応表 7
8. Starter Pack のバージョン確認方法 8
9. Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧 10
10. ソフトウェアの入手先 12
変更履歴 13

2. Windows Server インストール手順

Windows Server の新規インストールを行う場合は、下記フローチャートの手順を参照してください。

注意事項:

- 使用する OS に対応する最新の Starter Pack を適用してください。
- 事前に本書および Starter Pack の最新版が公開されているか確認してください。



(1) 「**Starter Pack のバージョン確認方法**」を参照し、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認してください。

(2) 「**OS と Starter Pack の対応表**」を参照し、対象 OS に対応する Starter Pack のバージョンを確認してください。
「**サーバーと Starter Pack の対応表**」を参照し、サーバーがサポートする Starter Pack のバージョンを確認してください。

(3) (1)および(2)の結果から、サーバーに適用されている Starter Pack が、インストールする OS に対応していることを確認してください。
「**Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧**」を参照して、注意事項を確認してください。
Starter Pack の更新が必要ない場合は、(4)へ進みます。
(3-1) Starter Pack および EXPRESSBUILDER を更新する場合は、「**ソフトウェアの入手先**」から対象の Starter Pack の Web ページの**記載内容・注意事項**を参照して更新してください。

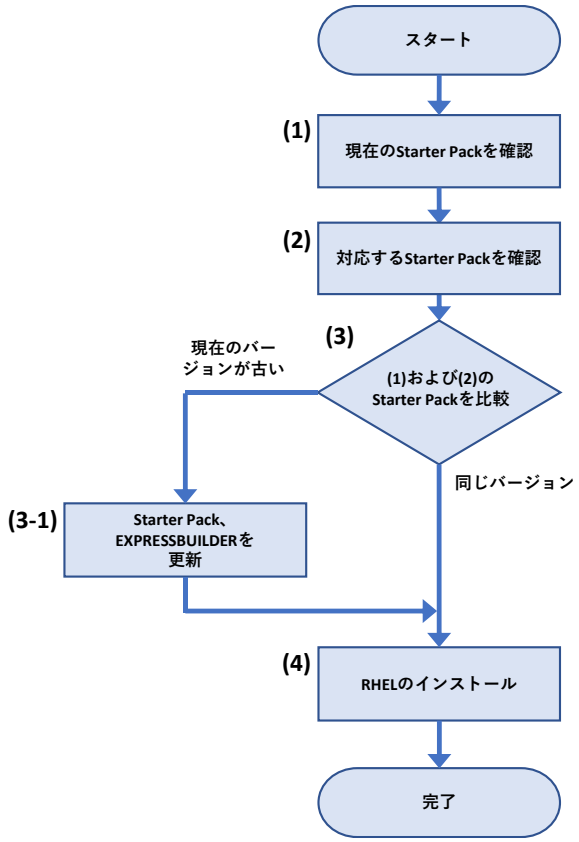
(4) 「**OS と説明書の対応表**」より、対応する Starter Pack のページおよびインストレーションガイドを参照して、Windows Server のインストールを開始してください。

3. RHEL インストール手順

RHEL の新規インストールを行う場合は、下記フローチャートの手順を参照してください。

注意事項:

- 使用する OS に対応する最新の Starter Pack を適用してください。
- サーバーに適用されている Starter Pack が RHEL9.6 に対応していない場合は、事前に Starter Pack の更新が必要です。



(1) 「**Starter Pack のバージョン確認方法**」を参照し、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認してください。

(2) 「**OS と Starter Pack の対応表**」を参照し、インストールする RHEL に対応する Starter Pack のバージョンを確認してください。
「**サーバーと Starter Pack の対応表**」を参照し、サーバーがサポートする Starter Pack のバージョンを確認してください。

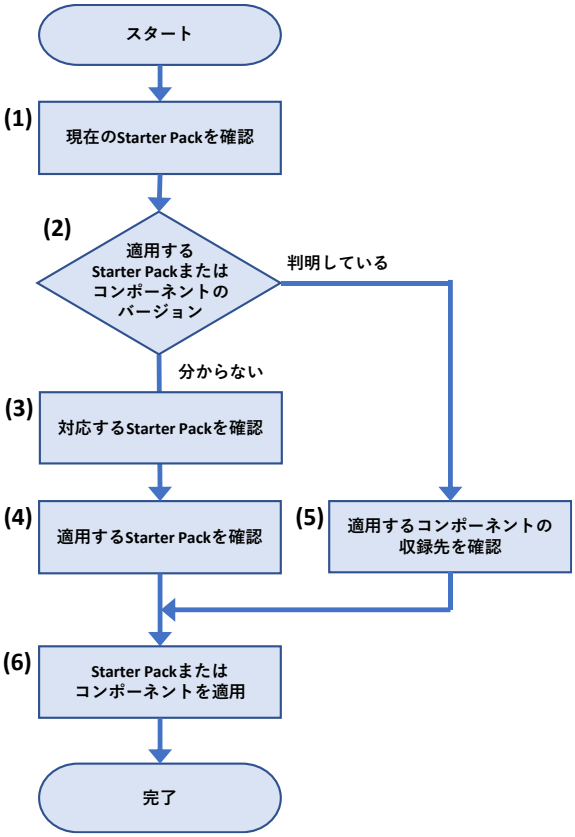
(3) (1)および(2)の結果から、サーバーに適用されている Starter Pack が、インストールする RHEL に対応していることを確認してください。
「**Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧**」を参照して、注意事項を確認してください。
Starter Pack の更新が必要ない場合は、(4)へ進みます。

(3-1) Starter Pack および EXPRESSBUILDER を更新する場合は、「**ソフトウェアの入手先**」から対象の Starter Pack の Web ページの**記載内容・注意事項**を参照して更新してください。

(4) 「**OS と説明書の対応表**」より対象のインストレーションガイドを参照して、RHEL のインストールを開始してください。

4. Starter Pack 更新手順

Starter Pack またはファームウェアを更新するための手順です。



(1) 「**Starter Pack のバージョン確認方法**」を参照し、現在のサーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認してください。

(2) 適用する Starter Pack またはコンポーネントのバージョンが分かる場合は(5)へ進みます。
適用する Starter Pack またはコンポーネントのバージョンが分からない場合は(3)へ進みます。

(3) 「**OS と Starter Pack の対応表**」の内容を参照し、稼働している OS に対応する Starter Pack のバージョンを確認してください。
「**サーバーと Starter Pack の対応表**」を参照し、サーバーが対応する Starter Pack のバージョンを確認してください。

(4) (2)および(3)の結果から、適用する Starter Pack のバージョンを確認して、(6)へ進みます。
※「**Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧**」を参照して、注意事項を確認してください。
※ 対応する Starter Pack のバージョンが複数ある場合は、最新バージョンを適用してください。
※ 修正内容の詳細については、Starter Pack の Web ページを確認してください。

(5) 個別にコンポーネントを適用する場合は、「**Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧**」を参照して、対象のコンポーネントが収録される Starter Pack のバージョン、または個別にリリースされていることを確認してください。
※「**Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧**」を参照して、注意事項を確認してください。

(6) Starter Pack またはコンポーネントを更新してください。「**ソフトウェアの入手先**」を参照して、適用する Starter Pack またはコンポーネントの Web ページを開きます。
Web ページの**記載内容・注意事項**を確認のうえ、Starter Pack またはコンポーネントを適用してください。

5. OS と説明書の対応表

対象 OS		説明書			
		本書	インストレーションガイド (Windows Server 2025 編)	インストレーションガイド (Linux 編 RHEL9.6 版)	Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート手順
Windows Server	2025	✓	✓		✓
Red Hat Enterprise Linux	9.6	✓		✓	✓
VMware ESX ※1※2	9.1	✓			✓

※1　OS インストールに際し、別途、ドライバーの適用が必要になる場合があります。
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866 を参照してください。

※2　「TPM Visibility」(*A)を「Visible」に設定する場合は、OS インストール時に生成される Recovery Key を保管するようにしてください。
Recovery Key は、「TPM 2.0 Operation : Clear」(*B)設定による TPM 内部情報をクリアする場合または保守対応時に必要となります。
(*A) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options> Advanced Trusted Platform Module Options > TPM Visibility
(*B) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > TPM 2.0 Operation

Recovery Key の詳細については、以下の Broadcom 社のドキュメント(セキュアな ESX 構成の管理 - セキュアな ESX 構成のリカバリ)をご確認ください。
- ESX 9.1 : https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-1/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration/list-the-contents-of-the-secure-esxi-configuration-recovery-key.html

説明書は下記より入手してください。

- インストレーションガイド(Linux 編 RHEL9.6 版)
- ダウンロード先: **https://www.support.nec.co.jp/**
  (「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」→対象の製品・モデル名を検索→「製品マニュアル」→「ユーザーズガイド」)
- インストレーションガイド(Windows Server 2025 編)
- Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート手順
  ダウンロード先、参照先: **https://www.support.nec.co.jp/**
  (「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」→対象の製品・モデル名を検索→「修正情報・ダウンロード」→使用するバージョンの Starter Pack)

6. サーバーと Starter Pack の対応表

本書の適用範囲のサーバーは、製品型番によって使用可能な Starter Pack のバージョンが異なる場合があります。

下記の表を参照して、対応する Starter Pack を適用してください。

サーバー		Starter Pack バージョン S8.10-015.01 (2026/8/26 公開)
R125k-2M	N8100-3044Y	✓

7. OS と Starter Pack の対応表

サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンによって、サポートされる OS が変わります。

対象 OS を新規インストールする場合は、下記の表を参照のうえ、OS をインストールする前に、対応する Starter Pack を適用してください。

対象 OS にアップグレードする場合は、下記の表を参照のうえ、OS をアップグレードした後に、速やかに対応する Starter Pack を適用してください。

注意事項:

- Red Hat Enterprise Linux 9 を新規インストールする場合は、最初に RHEL9.6 をインストールしてから目的のマイナーバージョンへ更新してください。
- VMware ESX をアップグレードする場合は、VMware ESX および Starter Pack のバージョンアップの過程で、一時的に非互換の状態で利用することは可能です。非互換の状態のまま運用したり、仮想マシンを起動したりすることはサポートしていません。非互換の状態で問題があった際は、適切な組み合わせとなるよう VMware ESX または Starter Pack を更新してください。

対応 OS		Starter Pack バージョン
		S8.10-015.01 (2026/8/26 公開)
Windows Server	2025	✓
Red Hat Enterprise Linux	9.6	✓
VMware ESX ※1※2	9.1	✓

※1 OS インストールに際し、別途、ドライバーの適用が必要になる場合があります。
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866 を参照してください。

※2 「TPM Visibility」(*A)を「Visible」に設定する場合は、OS インストール時に生成される Recovery Key を保管するようにしてください。Recovery Key は、「TPM 2.0 Operation : Clear」(*B)設定による TPM 内部情報をクリアする場合または保守対応時に必要となります。
(*A) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options> Advanced Trusted Platform Module Options > TPM Visibility
(*B) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > TPM 2.0 Operation

Recovery Key の詳細については、以下の Broadcom 社のドキュメント(セキュアな ESX 構成の管理 - セキュアな ESX 構成のリカバリ)をご確認ください。
- ESX 9.1:https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-1/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration/list-the-contents-of-the-secure-esxi-configuration-recovery-key.html

補足事項

- サーバーおよび Starter Pack 製品は、工場出荷時点の最新バージョンの Starter Pack および EXPRESSBUILDER が適用された状態で出荷されます。過去のバージョンの Starter Pack および EXPRESSBUILDER が必要な場合は、NEC Web ページからダウンロードしてください。サーバーの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。
ダウンロード先: https://www.support.nec.co.jp/ (「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」を選択)
- Starter Pack の更新に伴い、本書も随時更新されます。安定稼働のため、本書および関連資料に記載された手順に従い、使用する OS に対応する最新の Starter Pack を適用してください。

8. Starter Pack のバージョン確認方法

サーバー出荷時に適用された Starter Pack バージョンの確認方法

EXPRESSBUILDER および iLO6 ファームウェアのバージョンから、サーバー出荷時に適用された Starter Pack のバージョンを確認できます。

EXPRESSBUILDER ファームウェアバージョン	iLO6 ファームウェア バージョン	対応する Starter Pack のバージョン
4.37.6(E8.10-013.04)	1.75	S8.10-015.01

補足事項

- System ROM、iLO6 ファームウェアを個別に更新した場合や、OS インストールのために Starter Pack をダウングレード適用した場合は、EXPRESSBUILDER、System ROM、iLO6 ファームウェア、iLO6 日本語言語パックのバージョンが、他のコンポーネントに対応する Starter Pack と異なるバージョンになる場合があります。
  その場合は、他のコンポーネントのバージョンを基に Starter Pack のバージョンを判断してください。

EXPRESSBUILDER の確認方法

EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンを確認する方法は下記 2 通りあります。どちらか一方を実施してください。

- **サーバーのローカルコンソールで確認する方法**
  1. サーバーの電源がオンの場合は、シャットダウンして電源をオフにしてください。
  2. サーバーにディスプレイとキーボードを接続してください。
  3. サーバーの電源をオンにしてください。POST 画面が表示されたら、キーボードの<F9>キーを押してください。
  4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information→Firmware Information」を選択してください。
  5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
     - 画面の「EXPRESSBUILDER」→EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
  6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了してください。
     注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイド（共通編）の「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照してください。

- **iLO Web インターフェイスを利用して、リモートから確認する方法**
  1. iLO6 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備してください。
  2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェイスに接続し、ログインしてください。
  3. 左メニューの「ファームウェア&OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択してください。
  4. iLO Web インターフェイス画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
     - 画面の「EXPRESSBUILDER」→EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
  5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェイス画面を閉じます。
     注) iLO Web インターフェイスの操作方法は、iLO6 ユーザーズガイドを参照してください。

iLO6 ファームウェアバージョンの確認方法

iLO6 ファームウェアのバージョンを確認する方法は下記 3 通りあります。いずれか 1 つの方法を実施してください。

- **サーバーの Server Health Summary 画面で確認する方法**
  1. サーバーにディスプレイとキーボードを接続してください。
  2. サーバーの AC 電源を投入してください。
  3. [Server Health Summary]画面を表示するため、サーバー前面の UID ボタンを押し、UID をオンにしてください。
     注意事項:5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないでください。
  4. 接続したディスプレイに[Server Health Summary]画面が表示されます。

画面上に表示される「iLO Firmware」の項から、iLO ファームウェアのバージョンを確認してください。

5. [Server Health Summary]画面を閉じるため、サーバー前面の UID ボタンを押し、UID をオフにしてください。

- **サーバーのローカルコンソールで確認する方法**

1. サーバーの電源がオンの場合は、シャットダウンして電源をオフにしてください。
2. サーバーにディスプレイとキーボードを接続してください。
3. サーバーの電源をオンにしてください。POST 画面が表示されたら、キーボードの<F9>キーを押してください。
4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information→Firmware Information」を選択してください。
5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
   - 画面の「iLO Firmware」→iLO6 ファームウェアのバージョン
6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了してください。
   注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイド（共通編）の「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照してください。

- **iLO Web インターフェイスを利用して、リモートから確認する方法**

1. iLO6 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備してください。
2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェイスに接続し、ログインしてください。
3. 左メニューの「ファームウェア&OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択してください。
4. iLO Web インターフェイス画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
   - 画面の「iLO6」→iLO6 ファームウェアのバージョン
5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェイス画面を閉じます。
   注) iLO Web インターフェイスの操作方法は、iLO6 ユーザーズガイドを参照してください。

9. Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧

下記の各コンポーネントは、Starter Pack に収録されるか、個別に公開されています。
サーバーの安定動作のため、Starter Pack に対応する各コンポーネントの最新バージョンを適用することを推奨します。

Starter Pack を更新する場合や各コンポーネントを個別に更新する場合は、「ソフトウェアの入手先」にある URL の記載内容をご確認ください。
下表の Starter Pack に含まれるコンポーネントの組み合わせと異なる内容に更新する場合は、「Express5800 シリーズ/iStorage NS シリーズ【iLO6 搭載モデル】 ファームウェアと関連モジュールのバージョン管理について(2023 年 6 月～2026 年 8 月出荷開始製品)」の記載内容に従って、依存関係のあるコンポーネントを更新する必要があります。

注意事項

- OS インストールに伴い Starter Pack を用いてファームウェアをダウングレードする場合は、ダウングレードを実施しないファームウェアが存在します。その場合はファームウェアダウングレード手順書の記載を優先してください。
- 以下の表は Starter Pack に収録されるコンポーネントの一部です。記載されていないコンポーネントのバージョンは、「Express5800 シリーズ/iStorage NS シリーズ【iLO6 搭載モデル】 ファームウェアと関連モジュールのバージョン管理について(2023 年 6 月～2026 年 8 月出荷開始製品)」または Starter Pack に収録される「Standard Program Package version x.x.x.x Contents」を参照してください。

対応するコンポーネント	Starter Pack バージョン S8.10-015.01 (2026/8/26 公開)
◎System ROM ※1※2	3.20 ◎3.14
◎iLO6 ファームウェア ※1	◎1.75
◎iLO6 日本語言語パック ※1	◎1.74
EXPRESSBUILDER ※1	E8.10-013.04 FW Ver:4.37.6
◎RAID 通報サービス (Windows 用)	◎4.10 Rev 4251
◎RAID 通報サービス (RHEL 用)	◎4.10 Rev 4251
◎Agentless Management Service (Windows 用)	◎4.70.0.0
◎Agentless Management Service (RHEL 用)	◎4.6.0
Agentless Management Service (VMware 用)	802.12.5.0
◎iLO Channel Interface Driver (Windows 用)	◎4.7.2.0
iLO Channel Interface Driver (RHEL 用)	サポートする Linux Kernel に組込
iLO Channel Interface Driver (VMware 用)	800.10.9.1
ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用) ※3	7.32
◎ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用)	◎2.62
◎ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用)	◎2.3.12-0
◎LSI Storage Authority (Windows 用)	◎008.012.052.000
◎LSI Storage Authority (RHEL 用)	◎008.012.052.000-00
◎StorCLI (Windows 用)	◎007.3212.0000.0000
◎StorCLI (RHEL 用)	◎007.3212.0000.0000-1
StorCLI (VMware 用)	◇007.3212.0000.0000-02 ※4

対応するコンポーネント	Starter Pack バージョン S8.10-015.01 (2026/8/26 公開)
◎NEC iLO アカウント登録ツール (Windows 用)	◎1.00
◎NEC iLO アカウント登録ツール (RHEL 用)	◎1.00

◎二重丸 : Starter Pack に同梱されるコンポーネント。
◇ひし形 : VMware ESX インストールメディア(NEC Custom Image(以下「NEC CI」))に同梱されるコンポーネント。
無印 : 個別にダウンロードするコンポーネント。「ソフトウェアの入手先」または https://www.support.nec.co.jp/ (「製品から探す」)から検索してください。
(括弧で囲まれたバージョン) : 旧バージョン。括弧の付いていない最新バージョンを適用することを推奨します。

※1 これらのコンポーネントは対象の Starter Pack に対応するバージョン以降を使用する場合があります。
※2 System ROM を適用する場合は、iLO6 ファームウェアが推奨バージョンであることを確認してください。推奨バージョンでない場合は事前に iLO6 ファームウェアを適用してください。
※3 対象の Starter Pack に対応するバージョン以降の ESMPRO/ServerManager を使用してください。
インストール時に https://jpn.nec.com/esmsm/index.html の「パッチ/修正モジュール」を確認してください。
※4 StorCLI(VMware 用)は、VMware ESX 9.1 の NEC CI に 007.3212.0000.0000-02 が同梱されています。

補足事項

- Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧は、本書の発行日時点の最新情報です。サーバーの安定動作および新機能の追加のため、新バージョンが予告なく公開される場合があります。
- System ROM、iLO6 ファームウェア、iLO6 日本語言語パック、HDD/SSD 製品のファームウェアはダウングレード対象のコンポーネントではありません。ダウングレードした場合は、これらのファームウェアのバージョンはダウングレード適用した Starter Pack よりも新しくなりますが問題ありません。
- ESMPRO/ServerAgentService は iLO6 ファームウェアをサポートしているバージョンをインストールしてください。

10. ソフトウェアの入手先

ソフトウェア名	バージョン	入手先
Starter Pack ※1	S8.10-015.01	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112394
EXPRESSBUILDER ※1	E8.10-013.04	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112220
System ROM	3.14	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
	3.20	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112496
iLO6 ファームウェア	1.75	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
iLO6 日本語言語パック	1.74	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
RAID 通報サービス (Windows 用)	4.10 Rev 4251	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
	サポート情報リスト	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140103134
RAID 通報サービス (RHEL 用)	4.10 Rev 4251	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
	サポート情報リスト	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140103134
Agentless Management Service (Windows 用)	4.70.0.0	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
Agentless Management Service (RHEL 用)	4.6.0	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
Agentless Management Service (VMware 用)	802.12.5.0	iLO 1.75 以上用 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112416
iLO Channel Interface Driver (Windows 用)	4.7.2.0	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
iLO Channel Interface Driver (VMware 用)	800.10.9.1	iLO 1.75 以上用 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112416
ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用)	7.xx 最新バージョン	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110069
ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用)	2.62	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用)	2.3.12-0	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
	まとめページ	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110997
LSI Storage Authority (Windows 用)	008.012.052.000	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
LSI Storage Authority (RHEL 用)	008.012.052.000-00	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
StorCLI (Windows 用)	007.3212.0000.0000	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
StorCLI (RHEL 用)	007.3212.0000.0000-1	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
StorCLI (VMware 用)	007.3212.0000.0000-02	サポート情報リストを参照
	RAID システム管理機能 (VMware ESXi 5 以降) サポート情報リスト	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3010101744
NEC iLO アカウント登録ツール (Windows 用)	1.00	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
NEC iLO アカウント登録ツール (RHEL 用)	1.00	(Starter Pack S8.10-015.01 同梱)
VMware ESXi/ESX デバイスドライバー情報一覧	右記 Web ページを参照	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866

※1 サーバーおよび Starter Pack 製品(N8194-017)には、工場出荷時の最新バージョンの Starter Pack、EXPRESSBUILDER が適用・収録されています。最新バージョンの Starter Pack は NEC Web ページからダウンロードでも入手できます。
今後の更新に伴い、古いバージョンの Starter Pack を適用する場合は、NEC Web ページからダウンロードしてください。
サーバーの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。

変更履歴

版数	改版日	改版内容
3	2026 年 10 月 15 日	System ROM 3.20 公開
2	2026 年 9 月 11 日	Windows Server 2025 をサポート OS に追加
1	2026 年 8 月 26 日	初版